

陸運と安全衛生

第38回全国フォークリフト運転競技大会特集号

2023
10
No.655



第38回全国フォークリフト運転競技大会

第38回全国フォークリフト運転競技大会開催

【一般の部】優勝 中野裕貴選手(山口県支部) 準優勝 寺本豪瑠選手(滋賀県支部)
【女性の部】優勝 佐藤修子選手(岡山県支部) 準優勝 中島由葵選手(滋賀県支部)

 陸上貨物運送事業労働災害防止協会

第38回全国フォークリフト運転競技大会開催

【一般の部】優勝 中野裕貴選手(山口県支部)

準優勝 寺本豪瑠選手(滋賀県支部)

【女性の部】優勝 佐藤修子選手(岡山県支部)

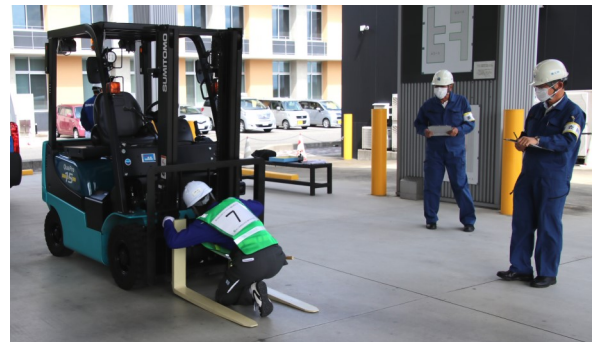
準優勝 中島由葵選手(滋賀県支部)



運転競技



学科競技



点検競技

陸上貨物運送事業労働災害防止協会は、9月30日(土)・10月1日(日)、中部トラック総合研修センター(愛知県みよし市)にて第38回全国フォークリフト運転競技大会を開催しました。

本年の地方大会では、多くの支部の関係者や会員企業の皆様のご理解とご協力により、418名が出場されました。昨年から50名近く出場者が増加する中で、全国大会を目指して技を競われました。この地方大会出場選手の中から、特に優秀な成績を修め、各都道府県支部長から推薦を受けた、一般の部50名、女性の部15名、合わせて65名の選手が全国大会に臨みました。本年の全国大会は、昨年より15名の増加となりました。

第38回大会を優勝されたのは、

一般の部 山口県支部 中野裕貴選手

女性の部 岡山県支部 佐藤修子選手

でした。



一般の部優勝 中野裕貴選手、女性の部優勝 佐藤修子選手

中野選手・佐藤選手とも、昨年に引き続き2回目の全国大会出場で見事栄冠を手にしました。

今回は付添い・応援の制限もなくした上で、安全、安心な大会を心がけ実施しました。参加選手をはじめ付添い・応援の皆様のご協力に感謝申し上げます。

以下、大会の様様をご紹介します。

大会初日（9月30日）、9時30分の選手受付前から選手が続々と集まり始め、運転競技の会場を確認したり、学科競技のためテキストの最終確認を行ったりして、少しずつ大会に臨む準備を整えていました。受付開始前には多くの参加選手が並んで順番を待ちましたが、受付、ゼッケン番号の抽選とスムーズに進行いたしました。



受付開始前に、並んで順番を待つ選手の方々

ゼッケン番号の抽選では思いどおりの番号を引いた方や、そうでない方など、例年どおりの悲喜こもごもの様子が見られましたが、競技に臨む決意を新たにされているように感じられました。



ゼッケン番号の抽選

開会式

開会式は10時30分から行われました。

開会の挨拶

大会実行委員長である当協会横尾雅良専務理事から開会の挨拶があり、「選手の皆様は、これから始まる競技に緊張とともに期待を大きく膨らませておられることと思います。これまで培ってこられた知識と技術、技能を遺憾なく発揮し、健闘されますことを強く希望いたします」と開会を宣言されました。



写真1 横尾実行委員長

第38回全国フォークリフト運転競技大会出場選手の皆さん（敬称略）									
一般の部（50名）									
支部名	氏名	支部名	氏名	支部名	氏名	支部名	氏名	支部名	氏名
北海道	中澤 俊光	群馬県	飯島 悠人	長野県	岡本 翔	奈良県	吉村健太郎	高知県	矢部 夏生
青森県	柳沢 忍	埼玉県	原沢 義高	岐阜県	瀧口 正人	和歌山県	福本 一成	福岡県	村瀬 聡士
岩手県	佐藤 盛	埼玉県	早川 康範	静岡県	斎藤 富弥	鳥取県	角 拓也	福岡県	木下 絢人
宮城県	千田 悠貴	千葉県	細谷 勇氣	愛知県	岡田 洋祐	岡山県	宮西 正規	佐賀県	小林 耕平
山形県	伊藤 達也	東京都	三谷 駆	愛知県	鈴木 圭介	岡山県	三上 崇	熊本県	藤元 慶一
福島県	鈴木 貴則	神奈川県	内海 甫	三重県	小川 裕樹	山口県	中野 裕貴	熊本県	石井 剛
	早川 司	新潟県	田村 恵一	三重県	吉田 優佑	徳島県	奥村 渉	大分県	高倉 昌也
茨城県	鈴木 裕也	富山県	若田 智和	滋賀県	寺本 豪瑠	香川県	角先 大和	宮崎県	湊 征一郎
	五十嵐祐介	福井県	鈴木 翔	京都府	高谷 昌樹	愛媛県	東 佑樹	鹿児島県	水江 正則
栃木県	落合 信彰	山梨県	雨宮 竜治	大阪府	天野 考丞	愛媛県	白崎 将駿	沖縄県	仲村 瑞希
女性の部（15名）									
支部名	氏名	支部名	氏名	支部名	氏名	支部名	氏名	支部名	氏名
茨城県	米川 真穂	埼玉県	杉本 実穂	愛知県	加藤菜々子	鳥取県	水下 奈文	徳島県	床櫻 春美
栃木県	岡 茉里奈	新潟県	宮森 尚子	滋賀県	中島 由葵	岡山県	佐藤 修子	熊本県	上川 真世
群馬県	坂才 晴菜	長野県	小林 杏奈	京都府	福村妃央璃	山口県	平田 光咲	沖縄県	金城亜利沙

開催地支部長挨拶

次いで開催地支部の青木均愛知県支部長（当協会副会長）から、「選手の皆様、全国から愛知県に集まってお楽しみいただきありがとうございます。全国フォークリフト運転競技大会開催に中部トラック総合研修センターをご利用



写真2 青木愛知県支部長
 用いただけることを大変うれしく思います。この大会は競技ではありますが、大切なことは順位ではなく皆様のフォークリフト作業における安全であり、労働災害を起こさないことです。フォークリフト関連の死亡・死傷災害が今もなお発生しており、厳しい状況にあるという認識を会社に戻ってからお伝えいただき、労働災害を皆さんの力で防いでいただくことを祈念したいと思います」との挨拶がありました。

選手宣誓

続いて、前回大会の優勝者が所属していた茨城県支部の鈴木裕也選手が全選手を代表して、「正々堂々、競技することを誓います」と力強く選手宣誓を行いました。



写真3 選手宣誓

競技

学科競技

学科競技では、選手は張り詰めた空気に包まれた競技場内で、50問の問題を一言一句漏らさないように集中して読み、解答していました。

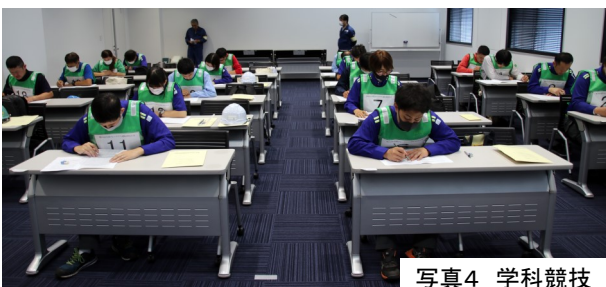


写真4 学科競技

点検競技

点検競技は全3コースで実施しました（写真5）。今大会点検競技で使用したフォークリフトは次の機種です。

第1コース：トヨタ L & F（02-8FGL15）

第2コース：住友ナコ（FT15PAXIII）

第3コース：三菱ロジスネクスト
 （KFGEL15P-TP）

前回大会同様、競技を円滑に行うため、競技の準備が完了したコースへ係員が選手を誘導することとしました。

審査員の「始め」の合図と同時にフォークリフトの周囲を流れるように移動しながら点検を確実に実施していく姿には目を見張りました。



第1コース



第2コース



第3コース

写真5 点検競技

競技は円滑に行われ、大会1日目は15時40分までに全て終了しました。

前回大会に引き続き、大会2日目の運転競技に使用するフォークリフトを展示しました。点検競技を終えた選手が翌日の競技に向け、レバーの位置などを入念に確認を行う姿もありました。

その後、選手はバスに乗りホテルへ移動し宿泊しました。

運転競技

大会2日目は8時35分から最終競技の運転競技が始まりました。

運転競技は2コースで実施しました（写真6）。今大会運転競技で使用したフォークリフトはAコース、Bコースともに次の機種です。

コマツ（FG25T-17）

選手が運転競技を行うコースへは、前々回大会から競技の準備が整ったコースへ係員が選手を誘導しております。

選手の競技開始直前の集中力を高めた表情と、競技を終え、審査員に鍵を返し競技を終



Aコース



Bコース

写真6 運転競技

えた表情の違いに、本大会に懸けた強い思いを感じました。

表彰式

運転競技が13時00分に終了し、表彰式は14時30分から行われました。

会長挨拶

当協会渡邊健二会長から「全国からご参加いただいた65名の選手の皆様には、緊張の中、学科・点検・運転の各競技に2日間にわたり真摯に取り組んでいただきました。皆様のご健闘に、心より敬意を表します。選手を送り出していただきました関係者の皆様方にも、厚く御礼を申し上げます。



写真7 渡邊会長

本大会は、フォークリフトの運転競技を通じて、運転に関する知識と技能の向上を図り、遵法精神と安全意識を高めることにより、荷役運搬作業の安全を確保するとともに、職場における労働災害防止に寄与しようとするものです。

陸運業における労働災害、特に荷役関連災害は増加傾向が続いており、フォークリフト作業における災害の防止は、陸運業における労働災害防止の重点対策に位置付けられています。

こうした中、選手の皆様は、本大会への参加に向けて、フォークリフト運転の知識、技能に一層の磨きをかけられたことと拝察します。本大会への参加を通じて得られた経験を職場の同僚、後輩の方々に広く伝えていただき、職場における労働災害の防止になお一層のご尽力をいただくようご期待申し上げます。

終わりに、各地方大会並びにこの全国大会を通じて、荷役運搬作業における安全作業の確立と労働災害の防止がさらに推進されますことを祈念いたします」との挨拶がありました。

来賓祝辞

続いて、ご来賓の方々からご祝辞をいただきました。

厚生労働省労働基準局

小林洋子安全衛生部長（要旨）

「本大会は、第38回を迎えており、長きに渡り行われて参りました。この間、本大会はフォークリフト作業における安全水準の向上に大きく寄与されてきております。本日の全国大会に参加された皆様の運転技術を拝見させていただいて、本当に素晴らしいなと感動したところでございます。

令和4年のフォークリフトに関連する労働災害発生状況を見ますと、34名の方々の尊い命が失われ、また、2,092名の方々が休業4日以上 of 災害に被災されている状況です。

また、陸上貨物運送事業における死傷者数は、物流量の増加等を背景として大変残念ながら増加を続けており、このうち7割が荷役作業中に発生しています。

厚生労働省では、トラックでの荷役作業中の労働災害を防止するため、本年3月に労働安全衛生規則の改正を行いました。昇降設備の設置及び保護帽の着用が対象となるトラックの範囲を最大積載量5トン以上のものから2トン以上のものに拡大し、10月1日に施行されました。厚生労働省ではこれらの対策の徹底などにより、荷役作業の安全対策を推進してまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

本年度は第14次労働災害防止計画の初年度です。本計画では陸上貨物運送事業は、引き続き重点業種として位置付けております。本日ご参加の皆様方におかれまして



写真8 小林厚生労働省労働基準局安全衛生部長

は、安全な作業方法の実施について職務を再点検いただくとともに、今後とも職場や地域における模範として、日頃の安全活動や後進の指導にも取り組んでくださいますよう、心からお願い申し上げます。」

全日本トラック協会会長

（代読：大西政弘交通・環境部調査役）（要旨）

「全国から選出されたフォークリフト運転者の精鋭によって、日頃から培った高度な技能と士気が競われた本大会のもつ意義と、役割は重要であります。参加された選手の方々に

おかれましては、本大会の参加を誇りに、地域のフォークリフト運転者に対して、安全は全てに優先するという意識を浸透させるためのリーダーとして、今後の一層の活躍をご期待します。」



写真9 大西全日本トラック協会交通・環境部調査役

日本産業車両協会会長

（代読：高瀬健一郎専務理事）（要旨）

「今年も昨年に引き続き7月5日に東京で第3回フォークリフト安全の日を開催しました。今後もフォークリフトの安全向上のための最新の機能をご紹介しますと共に、フォークリフトを正しく使って

いただくための普及啓発活動に力を入れてまいります。フォークリフトによる荷役作業における安全衛生向上を目指した本大会をはじめとする陸上貨物運送事業労働災害防止協会の事業に大いに賛同しますと共に、卓越した技術を持って各支部を代表して参加された選手の皆様のますますのご発展をお祈りします。」



写真10 高瀬日本産業車両協会専務理事

講評・入賞者発表

当協会木口昌子技術管理部長から、学科競技、点検競技、運転競技のそれぞれについて講評（詳細は、本誌8ページをご参照ください。）を行い、続いて入賞者の発表が行われました。



写真11 木口技術管理部長

入賞者発表では、健闘賞、5位、4位と順次上位入賞者が発表されるにつれ歓声と拍手が大きくなり、準優勝者、優勝者発表ではゼッケン番号の読み上げと同時に大歓声と割れんばかりの拍手が起こり、選手名の発表が聞こえなくなるほどでした。

【順位確定後に学科競技の採点ミスが判明し、順位が繰り上がる選手がいたため、一般の部第5位及び女性の部第4位の入賞者は、それぞれ2名ずつとなりました。】

第38回全国フォークリフト運転競技大会 一般の部 入賞者及び結果 (敬称略)											
順位	氏名	支部名	総合得点	学科	点検	運転		配点	最高得点	平均点	
優勝 (厚生労働大臣賞)	中野 裕貴	山口県	968	288	100	580	学科	300	288(2名)	242	
準優勝	寺本 豪瑠	滋賀県	954	264	100	590	点検	100	100(10名)	85	
第3位	高谷 昌樹	京都府	947	252	95	600	運転	600	600(1名)	500	
第4位	石井 剛	熊本県	935	240	100	595	総合得点	1,000	968	826	
第5位	鈴木 裕也	茨城県	931	276	95	560	()内は最高得点者数				
第5位	村瀬 聡士	福岡県	927	252	100	575					
健闘賞	吉田 優佑	三重県									

第38回全国フォークリフト運転競技大会 女性の部 入賞者及び結果 (敬称略)											
順位	氏名	支部名	総合得点	学科	点検	運転		配点	最高得点	平均点	
優勝 (厚生労働大臣賞)	佐藤 修子	岡山県	928	288	90	550	学科	300	288(1名)	214	
準優勝	中島 由葵	滋賀県	911	246	95	570	点検	100	95(4名)	75	
第3位	福村妃央璃	京都府	901	246	90	565	運転	600	570(1名)	447	
第4位	米川 真穂	茨城県	861	246	95	520	総合得点	1,000	928	736	
第4位	加藤菜々子	愛知県	853	228	90	535	()内は最高得点者数				
健闘賞	床櫻 春美	徳島県									

表彰

入賞者発表に続き表彰が行われ、陸上貨物運送事業労働災害防止協会会長賞が渡邊会長から入賞された選手一人一人に授与されました（写真12）。

一般の部及び女性の部の優勝者へは、小林厚生労働省労働基準局安全衛生部長から厚生労働大臣賞の授与（写真13）があり、次いで渡邊会長から会長杯の授与（写真14）が行われ、今回の大会は15時30分に閉会となりました。



写真12 会長賞を手にした一般の部入賞者の皆さんと渡邊会長



写真13 会長賞を手にした女性の部入賞者の皆さんと渡邊会長



写真14 小林安全衛生部長と優勝者



写真15 渡邊会長と優勝者



入賞選手の皆さん

前列左から、阿部愛知労働局長、小林安全衛生部長、中野裕貴選手、渡邊会長、佐藤修子選手、青木愛知県支部長、横尾実行委員長、後列左から、吉田優佑選手、村瀬聡士選手、石井剛選手、高谷昌樹選手、寺本豪瑠選手、中島由葵選手、福村妃央璃選手、加藤菜々子選手、米川真穂選手、床櫻春美選手

第38回全国フォークリフト運転競技大会 結果の概要

技術管理部長 木口昌子

10月1日の表彰式でもごく簡単に申し述べましたが、今回の大会の講評を以下に取りまとめました。次回以降の大会に向けて、参考としていただければ幸いです。

学科競技

学科競技は、正誤方式の50問で、各問6点の300点満点で行われました。平均点は一般の部241.6点、女性の部214.0点と前回大会に比べて好成績で、最高点は288点でした。（大会後に採点ミスが判明したため、表彰式時とは点数が異なっております。）

出題科目別で見ると、「関係法令」の正答率が83.1%と大幅に上がりましたが、「走行に関する装置の構造、取扱の方法」では、正答率が70.9%と伸び悩みました。大会を機に改めて知識の再確認を行い、後進の指導の際などにも活かすようにしてください。

なお、13番目の問題文において、「下死点」を「下支点」とする誤記があったため、この間は全員正解としました。今後このようなことがないように、チェックを強化いたします。

点検競技

点検競技は、作業開始前点検項目43項目のうち10項目の審査対象項目について、点検実施の有無及び不具合箇所の指摘について審査しました。配点は1項目10点の100点満点で、平均点は一般の部85.4点、女性の部75.3点で、満点は10名でした。

審査対象項目の点検漏れがあった選手が14名いました。作業開始前点検の項目はもれなく実施するよう、日頃から習慣づけてください。

不具合箇所の指摘誤りは、「リフトチェーンの左右の張り不良」と「ホイールナットの緩み」で多くみられました。それぞれの点検項目についてどのような状態であれば是正が必要かについて、改めて確認するようにしてください。

運転競技

運転競技は、「コマツ」製の最大荷重が2.5トンのカウンターバランスフォークリフト(ガソリン・トルコン車)と1.0トンの荷を用いて実施しました。配点は600点で、基本操作技術について減点方式により採点し、制限時間(5分)を超過した時間に応じて減点をしました。

平均点は一般の部499.8点、女性の部446.7点で前回より下がりました。満点は1名でした。また、32名の選手に時間超過が見られました。基本操作技術の精度を上げることで、正確な操作と運転時間の両立を目指していただきたいと思います。

基本操作技術の中では、荷の取り卸しや積み付けの際に、パレット下面と架台上面が水平でないことや、パレット端面と架台端面との不一致の指摘が多くみられ、ゴール停車時にフォークを完全に地面につけないで終了する選手も少なからず見られました。

今回の大会での運転操作を振り返って、できていなかった部分を是正し、より安全で正確な運転につなげていただければと思います。

【大会優勝者インタビュー】

自分が一番上手いと信じる

第38回大会 一般の部 優勝 中野裕貴 選手

優勝おめでとうございます。お気持ちをお聞かせください。

入賞者発表で、正直ちょっと呼ばれないんじゃないかなという気持ちが一瞬あったんですけど、優勝してほっとしました。

優勝と発表されたときに一番最初にどんなことが思い浮かびましたか？

全国大会出場は2大会連続の2回目なのですが、地方大会は3回挑戦しています。1回目も地方大会を優勝したのですが、母親が全国大会前に他界しまして、出場を辞退しました。それもあって母親の顔が浮かびました。

お母さまから応援していただいたんですか？

地方大会を初優勝したとき、めちゃくちゃ喜んでくれました。

大会に参加してみようと思ったきっかけはありますか。

優勝したら人生変わるよと聞き、良いことがあるのかなと思い、自分から出たいと言いました。

今大会に臨むまでに特に取り組まれたことをお聞かせください。

前回大会、学科競技の点数の差で優勝することができなかったのが、学科競技に向けた勉強に特に取り組みました。過去問を多く解き、教本を読みました。

前回大会で上手いかなかったことはモチベーションになりました。

今大会、各競技で手応えはありましたか？

今回の学科は正直絶対満点と自信があったんですけど、競技が終わって見直したら満点ではないことに気がきました…。

運転と点検は前回大会でもそれなりの成績でしたので、自信はありました。

優勝した秘訣や自信があったことはありますか。

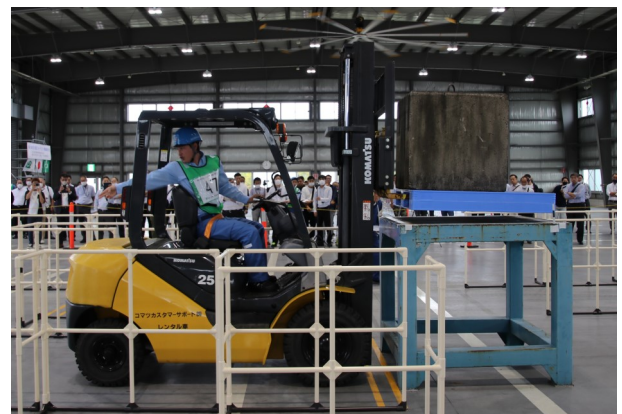
自分が一番上手いんだという自信を持つことです。

職場や周囲の方々のご協力はございましたか。

みんな積極的に協力してくれました。練習中は仕事ができないので、その分フォローしてもらいました。

改めて優勝の感想をお聞かせください。

めちゃくちゃ嬉しいです。今後のことまでは考えられませんが、職場で事故が起きないように安全作業に努めていきます。



【大会優勝者インタビュー】

挑戦していきたい

第38回大会 女性の部 優勝 佐藤修子 選手

優勝おめでとうございます。ご感想をお聞かせください。

あまり実感がありません！5位以内には入れるかなとは思っていましたが、1位とは思っていませんでした！優勝発表で名前が呼ばれた瞬間も他人事みたいな感覚でしたが、嬉しさもありました。今はどこが減点されたかが気になっています。足りなかったところを今後に生かしていきたいと思っています。

地方大会から全国大会まではいかがでしたでしょうか。

大会経験は昨年に引き続き2回目です。岡山県支部の地方大会に出場し、男女合わせて15名の中で優勝しました。

春頃から、全国大会に向けてずっと練習をしていました。下がぼこぼこしていても一緒に練習していましたが、本番と似た運転競技用のコースを自分の職場で作っていただいて、そこで練習を重ねました。

優勝した秘訣や自信があったことはありますか。各競技で手応えはありましたか？

自信はないですが、学科が割と好きでした。勉強法としては、テキストをひたすら読んで、自分が理解しやすいように違う角度でまとめていく、法令なら法令だけ集中してやるなどです。「フォークリフトの運転に必要な力学に関する知識」では数学的な計算式が多く、そこは基礎から学びました。また、苦手な科目を集中的にやりました。本番は難しく、悩んだ問題が多かったです。

点検競技は、前回出場した時よりは良くできたと思いますが、もう少し確認したかったところが何か所かありました。時間内にもう少し無駄なく回っていたら、満足できる内容になったかなと思います。

運転競技は、タイムが遅いタイプです。昨年接触してかなり減点されてしまったので、今回は接触がないようになり気を付けて走りました。自分の番まで時間があつたので、その間はイメージトレーニングをして過ごしました。

学科競技と同じで、自分の苦手なところを重点的に練習するように気を付けました。

職場や周囲の方々のご協力はございましたか。

練習のために時間をとっていただいたり、シフトを代わっていただいたりして、すごく協力していただきました。大会当日も応援にも来ていただきました。

大会に参加してみようと思ったきっかけはありますか。

入社した時に、職場の上司に「こういう大会があるので、どうですか」と声をかけていただいたことがきっかけです。すごくおもしろそうだったので、1年経ったら出ますという形で出場しました。過去に出場を経験されている方がいて、「絶対勉強になるから、結果がどうであれ体験するといいいよ」と勧められました。

現在の職務内容をお聞かせください。

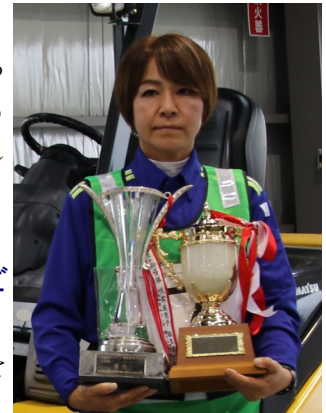
フォークリフトでビールや瓶、樽などの重量物を運んでいます。作業中は安全第一。スピードよりも確実に安全に、怪我無く事故無くに努めています。

改めて優勝の感想をお聞かせください。

教えてくださった方や、協力していただいた仲間、お世話になった上司や先生に、本当に感謝でいっぱいです。

挑戦することが好きなので、一般の部やトラックドライバー・コンテストに出場してみたいです。今後も挑戦していきたいと思っています。

また、安全確認の徹底など、職場に落とし込めるところは広めていきたいです。



女性の部優勝 佐藤選手



フォークリフト 荷役技能検定

フォークリフト作業の安全化は技能の向上から！



陸災防

日頃、フォークリフトオペレーターの危険な運転を目の当たりにしていませんか？



陸災防では、「フォークリフト荷役技能検定」を実施しています。この技能検定は、フォークリフト運転者の安全・正確・迅速な荷役作業の技能を1級及び2級として評価・認定するもので、技能の向上を通じて荷役災害の防止を図ることを目的としています。



検定1級バッジ



フォークリフト荷役技能検定の科目は、学科試験、点検試験、運転試験の3種類。これに全て合格すると、検定合格証とバッジが授与されます。

フォークリフト荷役技能検定は、あなたの職場の災害防止・作業効率の向上、社会的評価の向上に必ず役立ちます！

フォークリフト荷役技能検定

陸上貨物運送事業労働災害防止協会（陸災防）